



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。新型コロナウイルスの感染がなかなか収まらない中でも基本的感染予防策により、各保育・教育現場では工夫しながら様々な機会の確保を図っており、子どもたちも生き生きと活動しています。町民と子どもたちのかかわりを中心に、その様子をお伝えいたします。

## しみず保育所

### とうきび「あまくておいしい！！」

8月19日（金）、とかち亭さんのご厚意でいただいた「冷凍とうきび」を8月22日（月）の午後のおやつの時、みんなで頂きました。



「あまくておいしい♡」「やわらかい」などと話しながらかぶりついていた子ども達。すっかりとうきびの虜になっていました。



そして8月23日（火）梶山農場さんからも、採れたてのとうきびをいただきました。品種は、「雪の妖精」です。白



いとうきびにびっくりしていた子どもたち。お家に持って帰った次の日に「茹でてもらって食べたよ」「いつもより甘かったあ〜」などと白いとうきびの話で持ちきり、秋の味覚のとうきびを堪能しました。

## 御影こども園

### 色々と新しくなりました！

地域貢献事業の一環として、河田工業様が0・1歳児クラスの戸外フェンスの色塗りと遊具の塗装、グラウンドの築山に砂を入れてくださいました。

また、十勝清水ライオンズクラブ様より40周年記念事業として、0・1歳児クラスの戸外遊びスペースに人工芝と砂場を寄贈してくださいました。

子どもたちは、砂場遊びに夢中！友達とままごと遊びを楽しんでいます。



人工芝は、素足で歩けるので子どもたちは気持ち良さそうです。

改めて河田工業様、十勝清水ライオンズクラブ様、素敵なアクティビティを作って頂き、感謝いたします。ありがとうございました。

## 清水幼稚園

### バランスのとれた食事

栄養の3つの色の話を町の栄養士の大津さんから教えて頂きました。まず食べ物を3つの色に分けました。

1つ目は体（筋肉・骨・歯）をつくる働きの赤色で、肉・魚・乳製品・大豆製品です。2つ目は力をつくる働きの黄色で、ごはん、パン、麺類、いも類です。

3つ目はウンチをつくり体の調子を整え病気になりにくくする働きの緑色で、野菜や果物、海藻です。そして、食事をするときにどの色も欠かさず食べることの大切さを学びました。

次に食品がどの色にあたるかをクイズで確かめました。最後のクイズは、サル



とブタとソウが登場して朝ごはんは何を食べたかを話してくれ、どの動物の食事が素敵か（バランスがとれているか）という問題でした。即座に「3つの色の食べ物がそろっているからサルさんだ」とばら組さんが答えていました。さすが年長のばら組です。よく話を聞

いて、それを活用する力が育っていると感じました。

本日の話を色々な場面で思い出し、元気で丈夫で健やかに成長していくために食事を大切にする子になってほしいと思いました。

お話のお礼に「とんぼのめがめ」と「ひまわり」を歌いました。帰りに栄養士さんからばら組やさくら組はよく理解し、たくさん発表してくれて、とても楽しかったと言っていました。栄養士さん、大切な食べ物のお話ありがとうございました。



## 清水小学校

### 書写の時間に今年もお世話になっています！



書写（毛筆）は、鉛筆で字を書くのとは違い、筆圧を強めたり弱めたりしたり、また穂先の向きをかえたりして、字を書きます。力のかけ方、筆の回し方等、細かい技術が必要な教科です。

一人一人の指導が特に求められる書写の時間に、今年度も、ボランティアの方々に、授業のお手伝いし

ていただいています。

この授業の時は、担当の先生から「左はらい」「右はらい」の書き方を教わり、1, 2, 3とリズムをとりながら、筆を走らせていた子どもたち。ボランティアの方々は、その姿をやさしく見守りながら、困り感のある子どもにそっと寄り添い、丁寧に指導してくださいました。

子どもたちは、苦手なことやできなかったことができるようになると、自己肯定感（自分自身に対する自信）が高まり、さまざまなことに取り組んでいきます。

習字の時間で「できた！」を実感して自己肯定感を高めた子どもたちが、学校生活のさまざまな場面で、さらに自発的に物事に取り組んでいくことでしょう。

書写ボランティアの皆さん、いつも本当にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 御影小学校

### スーパーマーケットの見学～フクハラ清水店様～

2学期に入りすぐに、フクハラ清水店へ見学に行きました！

昨年度は新型コロナウイルス感染症対策で、

直接見学はできませんでしたが、今年度は店長さんのお計らいにより、店内を見学したり質問をしたりと貴重な体験になりました。

見学の初めは挨拶です。挨拶も貴重な体験で



す。担当の二人は、休み時間やお家で内容を考得て、何度も練習を繰り返し、緊張の中にも堂々とあいさつすることができました。

スーパーマーケットでは、実際に見ることで、お客さんを呼び込むための沢山の工夫があることを、学ぶことができました。教科書や資料から考えたことを見学場所で確かめたり新たな発見をしたりすることは、最初から答えのない大切な学びです。おそらく子ども達の目には、いつものスーパーマーケットとは違う景色が映っていたのではないのでしょうか。

最後に、事前に用意した7つの質問をさせていただきました。店長さんは一つひとつ分かりやすく丁寧に答えていただき、子ども達は懸命にメモを取っていました。この後は、報告文という形でまとめの学習に生かしていきます。

貴重な機会を本当にありがとうございました。

## 清水中学校

### 合唱ワークショップ～届けたい歌、響き合う心～



去る8月29日（月）と9月12日（月）、清水町出身の音楽家、延与幸恵さんを講師にお迎えし合唱ワークショップを開きました。コロナ禍だったこともあり、本校では3年ぶりの開催となります。

担当教諭による紹介後、早速指導が始まりました。ここ2年ほどともに歌え

ていなかった影響が色濃く残っています。「合唱好きですか」と問われ、遠慮がちにあがる手。「みんなの声を聞かせて」と言われ、おそろおそろ開ける口。かなり音量控えめな歌が、か細く聞こえてきます。表現することに臆病になっているのでしょうか。そんな気持ちをときほぐしていくところから始まります。大き



く口を開け、元気な声で、めいっぱい声を出せば、これほど気持ちのよいことはありません。しかも一人一人異なる声が集まり、きれいなハーモニーを奏でたとき、人の心に響く歌を届けることができます。今年の文化祭では、「みんなで思いっきり歌えてよかったね」と思える合唱が披露できた。

お昼をはさみ3校時から5校時にかけて、学年ごとに全校生徒を熱心に指導していただいた延与さん、ありがとうございました。

## 御影中学校

### 1 日防災学校～全校避難訓練・2学年「HUG」で防災を考える～



本校では、防災教育の一環として、「一日防災学校」の日を設定しております。今年度は、9月2日（金）を防災の日とし、全校避難訓練と2学年のHUG（避難所運営ゲーム）を行いました。

3・4時間目、HUG（避難所運営ゲーム）の講師として、役場総務課の宇都宮主幹をお迎えし、災害が起こったとき、本校に避難所を開設する想定で学習を進めました。様々な事情をかかえた避難者のカードを、体育館や教室の図面上に配置、起こりうる状況を想定しながら対応を考える等、避難所での様々な出来事を模擬体験するゲームに真剣に取り組みました。





考える良い機会となりました。

5時間目には、地震・火災を想定した避難訓練を行いました。消防署の方にお越しいただき、防災に関する備え、避難の際に気をつけなければならないこと等をご指導いただきました。各学年代表の生徒が、実際に消火器を使って消火体験を行う等、一日防災学校の取組を通して、実際に災害が起きてしまった場合、地域の皆様と協力しながら、自分達には何が出来るか、深く

「2学年HUG（避難所運営ゲーム）」※写真は必要に応じてお使いください



「避難訓練」※写真は必要に応じてお使いください

